

研究課題 (テーマ)	Global HUB プロジェクトのための環境整備		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	教養教育センター	特任講師	リ オリガ
	教養教育センター	特任講師	碓井エリザベス
	同上	准教授	モクタリ明子
	同上	准教授	清水義彦
研究結果の概要			
<p>本事業では、Global HUB プロジェクトの実施基盤を整備するため、LL 教室 F201 を拠点とした学習・交流・教員連携の環境づくりを行った。具体的には、ミーティングチェア、会議用テーブル、パーテーションを購入・配置し、学生同士の交流、少人数での英語アクティビティ、自主学習、教員間の打合せ等に活用しやすい空間を整備した。また、TOEIC 対策に使用する教材等を整備し、学生が授業外でも英語資格試験に向けた学習に取り組める環境を整えた。</p> <p>整備した環境を活用し、英語科の非常勤講師を含む教員ミーティングを実施した。ミーティングでは、授業運営、学生の学習状況、教材・教授法、今後の Global HUB の活用方法等について情報共有を行い、常勤・非常勤講師間の連携を深める機会となった。</p> <p>また、これらの活動を発信するため iPad を購入し、Instagram を開始した（詳細は研究教育成果の情報発信の実績報告書に記載）。</p> <p>申請時には、学生が英語や異文化に気軽に触れ、英語学習の必要性を体感できる場を創出するとともに、常勤・非常勤を含む英語教員間の連携を深め、授業改善につなげることを目標としていた。本プロジェクトでは 3 に記載の通り学習・交流環境を整え非常勤講師を含む英語科教員ミーティングを実施し、教材、学生支援、Global HUB の活用について情報共有を行った。また、学生対象の英語アクティビティ、TOEIC 対策学習、留学生交流パーティーを実施し、授業外で英語を使い、異文化に触れる機会を提供した。これらの取組により、申請時に掲げた学生の能動的な英語学習の促進、英語学習機会の拡充、教員間コミュニケーションの促進という成果が得られたと考える。</p>			
今後の展開			
<p>今後は、整備した F201 の環境を継続的に活用し、学生の自主学習、英語アクティビティ等、留学生との交流活動をさらに充実させていく。また、英語科の常勤・非常勤講師による定期的なミーティングや教材・教授法の共有を継続し、授業改善と教育の質向上につなげる。さらに、学生の参加状況やニーズを把握しながら活動内容を改善する。</p>			